

2011(平成23)年7月26日 作家莫言VS弁護士坂和章平 対談 通訳 毛丹青

第1部 莫言文学の整理

第1章 莫言文学の特徴

第1. 作家莫言とは?

1. 経歴

- 1955年 山東省高密県に農民の子として生まれる
- 1976年 人民解放軍に入隊
- 1985年 『透明な赤蕪』でデビュー
口をきかない黒い子供(自分自身の影?)
- 1986年
- 1987年 『赤い高粱』張芸謀監督により映画化
- 1988年 ベルリン国際映画祭金熊賞受賞

2. 主な作品

- 85年、デビュー作『透明な赤蕪』(透明的紅蘿蔔)
- 『赤い高粱』(86年)
- 『秋の水』
- 『花束を抱く女』
- 『蠅・前歯』
- 『酒国 特捜検事丁鉤兇の冒険』(96年)
- 『豊乳肥臀』(99年)
- 『至福のとき』(02年)
- 『白い犬とブランコ』(03年)
- 『白檀の刑』(03年)
- 『四十一炮』(06年)
- 『転生夢現』(08年)
- 『蛙鳴』(11年)

第2. 莫言文学の特徴 その1

- 1. 莫言、東京講演会(日本中国当代文学研究会主催「莫言先生を囲む会」記録)から分析(1999年10月30日駒澤大学深沢校舎日本館紅葉の間にて)

- ・『豊乳肥臀』の出版記念を兼ねてはじめての訪日。川端康成ゆかりの伊豆へ。修善寺、湯本館(『伊豆の踊子』を書いた旅館)など。

- ・講演 メチャ面白い!まさに莫言ワールド!莫言マジック!

- (1) 日本での体験からたちまち5本の小説のテーマが?
 - ・川端康成の幽霊が出た 『川端康成の幽霊』
 - ・新宿の街で狐が化けたような若い娘が闊歩 『東京の狐娘』
 - ・天城トンネル超えの時、女生徒の金切り声 『女子中学生の叫び』など
- (2) 莫言文学の根源は、小学生の時、牛や鳥さえ相手にしてくれないので一人想像。飢えた時代。
「私の文学は実は飢餓と孤独の産物なのです。」
小説家になれば、1日3食餃子が食える。
- (3) 小説の勉強は難しかった。転機になったのは川端康成の『雪国』。「黒くたくましい秋田犬がその踏み

石に乗って、長いこと湯をなめていた。」という表現。これで小説が書けると開眼した。

『白檀の刑』における黒犬の描き方の原型がここに?

- (4) 小説家として最も大切なものは虚構の能力と想像力だ。
「小説家としては、情感の経歴あるいは想像上の情感の経験の方が生身の経験より重要であり、貴重なものだと思います。何故なら一人の人間の生活経験には畢竟、限りがあり、片や想像力は無限だからです。作家は無限の想像力を具えていればこそ、生活に源を発し、生活を超越する芸術を創造することができるのです。これが、小説がこれからも存在し続けていける大きな理由だと思います。」

(5) 好きな映画

2つの映画から人間性と戦争の問題について多くのことを考えさせられた

『君よ憤怒の河を流れ』(76年)もみた
栗原小巻と中野良子に中国人男性が夢中に

- (6) 「伊豆にきたのだから次の小説には必ず温泉のことを書く」「高密県に温泉を一つ掘りましょう」と「公約」? その実現は? 有馬温泉との比較は?

2. 莫言の地元での大江健三郎との対談(02年4月)

(毛丹青通訳)ウイークエンドスペシャル「21世紀のパイオニア農村の生命を描く」で放送

- (1) 1994年ノーベル文学賞を受賞 で講演

- (2) 02年春節、大江健三郎が山東省高密県へ訪問

- ・2人とも農村出身

- ・大江健三郎の嫁の兄は故伊丹十三監督

- ・1980年代は中国文学映画の黄金期

- ・張藝謀も番組に出演

なぜ『赤い高粱』を映画化したのか? 生命力がテーマ? もう一度やれと言われてもできない。

第3. 莫言文学の特徴 その2

莫言自身の「あとがき」と記者の「あとがき」から分析

- 1. 『赤い高粱』(03.12月)

記者あとがき(井口晃)

- (1) 莫言の生い立ちを説明

- (2) 本書は抗日戦争を語っているようだが、その本当の中心は民間の伝奇(荒唐無稽な物語)である。

莫言の伝奇=私たちの言葉で言えば歴史

時の流れのなかで泥と血まみれで生きた男や女たちの生の営みが莫言の「歴史」

莫言の「歴史」の認識は生命の根源である土=大地への帰依を土台とし、それは生命を産み、育む母性に対するほとんど無条件な憧憬と化していく。

- (3) 特徴 多弁(饒舌体)

品のよくない言葉の頻出
まやかしのすべてを笑いとばす哄笑の世界へと広がる可能性をもっている

2. 『築路』

訳者あとがき(菱沼彬晃)より

- (1) 特徴 登場人物は自分が何者かを知らず、自分の居場所を知らず、また自分の行く手を知らない。
 - ・道路工事の現場で働く男たちの群像
 - ・男たちの前歴は、窃盗犯、博打常習者などの無頼漢
 - ・凶悪犯でもなければ、思想犯でもない、無宿人
 - ・道路建設隊の隊長楊六九=墓荒らし
 - ・背景 一面の荒れ地、アルカリ土の焼け焦げた大地
- (2) 人民であるかないか、革命か反革命か、貧農か富農か、同志か敵か。コンピューターの二進法的区分けによって構築された堅固なシステムの中で「人民」でないものの居場所はどこにあるのか？
ここから莫言の世界は翼を持ち、飛翔する
- (3) ふんだんに散りばめられた神話的な表徴 - 牛、犬の登場
 - ・ハイライト 黒のおす犬VS犬殺し孫巴との戦い
- (4) 風景描写のみごとさ
 - ・墓荒らしの楊六九が、豆腐売りの女白蕎麦の家に忍びこむシーン
 - ・楊六九が墓荒らしをしていたときのプロの手口
- (5) 老劉と妻、老劉と二ラ売りの少女回秀とのストーリー
- (6) 孫巴の男の子と女の子の双子の行方は？ - ハイライト

解説(飯塚容)より

- (1) 不条理と混沌の文化大革命期を時代背景にしている
 - ・莫言が描きたかったのは人間の飽くなき欲望と逃れようのない運命
- (2) 楊六九とはじめて出会った白蕎麦が豆腐を売りつける場面で莫言のエロスが全開になる
- (3) 黒い犬は孫巴との格闘の場面で人格を宿した存在として描かれる

3. 『白檀の刑』

莫言「あとがき」より

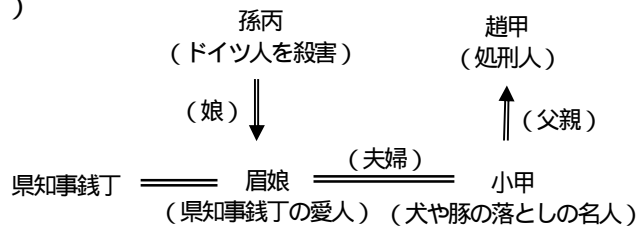
- (1) 頭部(1~9章)
腹部(11~13章)
尾部(14~18章)
それぞれの章の主人公が語りかける形式
- (2) 執筆の動機 2つの音
膠済鉄道を百年走りつづけてきた汽車の音
高密県一帯に流行する地方劇猫腔の音
歌唱が哀切、女形が抑圧された女が血涙をしばって訴える
- (3) 文革後期になって、猫腔『白檀の刑』の誕生
ドイツに抵抗した孫丙の物語は、清朝末年から中華民国初年にかけてすでにあつた。一字も知らない隣の小父さんと組んで九場の大型芝居『白檀の刑』を書き上げた。
- (4) 小説 1996年秋から執筆
最終的には鉄道と汽車の音を弱めて、猫腔の音を突出させることにした。こうすることで、作品の豊かさは減少するだろうが、庶民的雰囲気をするだけ保たせ、

純粹な中国的風格をできるだけ出すため、わたしは犠牲を躊躇しなかった。

訳者あとがき(吉田富夫)より

- (1) 物語をリードするキーワードは『処刑』(美しき処刑?)

- (2)



5人の愛憎劇

悲劇の大団円

- (3) 1899年の現実の事件がもと(ドイツの鉄道敷設に抵抗して農民を組織し、1899年の夏から秋にかけて工事現場を襲うなどの闘争を展開した)
 - ・西太后や袁世凱など清朝末年の中国政治を動かした実在の人物も登場
- (4) 執筆の動機は2つの音(鉄道を走る汽車の音と地方劇猫腔の旋律)
- (5) あとがきに一字も知らない隣の小父さんと組んで九場の大型芝居『白檀の刑』を書き上げたと書いている。
すべてでっちあげ 芝居の文句の台本はなし。隣の小父もいない。
すべて莫言の想像力の産物だということからビックリ!
あとがきもでっちあげ?

4. 『四十一炮』

莫言「あとがき」より

- (1) 語りこそがすべてである
- (2) 『四十一炮』の物語には、さしたる意味はない。本書にあっては、語りこそが目的であり、語りこそが主題であり、語りこそが思想なのだ。
- (3) 羅小通はやたらとほらを吹く子供であり、口から出任せを言う子供であり、語りの中に満足を手にする子供である。語りこそが彼の最終目的なのだ、かかる言葉の濁流の中では、物語は言葉の媒体であるとともに、言葉の副産物でもある。思想は? 思想など、お話にもならぬ。わたしは従来から思想無きをもって誇りとしてきた。わけでも、小説を書く段になると。
- (4) 語り手はもっともらしい語り口で、真実ならざるあらゆるものを「真実」に変えてしまう。小説は書きたるもの、この「もっともらしい」語り口さえ手に入れば、小説という神殿を開ける鍵を手に入れたも同然なのである。

訳者あとがき(吉田富夫)より

- (1) 児童アングルによる小説
「黒い子」が原点
- (2) 1990年(ステージA)
10歳の「肉小僧」たる羅小通の下へ情婦と駆け落ちしていた父親が突然、娘を連れて舞いもどってくる。
10年後(ステージB)
この2つが実時間と虚時間で流れている。
- (3) キーワード 人間の根源的欲望である食欲と性欲
- (4) リラックスして肉小僧のほら話に耳を傾けたい。

5. 『転生夢現』(07年11月)
 訳者あとがき(吉田富夫)より
- (1) 鳥羽僧正覚猷の「鳥獣人物戯画」がなぜ人の心をつ
 のか? ウサギやカエルやサルにデフォルメされること
 によって現実の複雑な夾雑物が剥ぎ取られ、そこに人
 間の本質的なものが樹皮を剥がされた生木のようにニ
 ュッと露呈するからだ。
 本書は人間世界に混在する牛や豚などがしばしば語
 り手となる点で、さしずめ現代中国版の鳥獣人物戯画
 として読むことができる。
- (2) わしの物語は、1950年1月1日から始まる。
 新中国建国 悪徳地主の主人公西門鬧の
 銃殺 口バ、牛、豚、犬、猿と転生
 本書は、西門鬧とその一族が毛沢東時代から現在の改
 革・開放期にかけてたどる愛憎の半世紀の物語である。
- (3) 時代背景のキーワード
 土地改革(1950~52年)
 催合(互助組) 合作社 人民公社

6. 『蛙鳴』
 訳者あとがき(吉田富夫)
- (1) 一人っ子政策というタブー(禁区)に中国ではじめて
 正面から切り込んだ小説
- (2) 現代中国の人口問題をスケッチ
 ・年平均の人口増加率25%の25年間
 ところが1960年と61年の2年だけ自然増加率が
 マイナス4.57%、3.78%と急落
 数千万人の餓死者を出した毛沢東の大躍進政策の失敗
 総括されたためではない
 ところが本書はこうした歴史も書き込んでいる
- (3) 一人っ子政策は政治的には効果をもたらした。その歴
 史総体を「人」としてどう総括するのか、莫言はその
 課題を敢えて文学的に担った。
- (4) タイトルの意味は?なぜ「蛙」?
 ・蛙 - 赤ん坊 蛙(ワワ)
 ・主人公 - オタマジャクシ
 男性の精子 - オタマジャクシ
- (5) 2002年の春節 大江健三郎が莫言を訪問
 その際、産婦人科医の伯母のもとに大江を案内し小説
 の構想を説明した。
 オタマジャクシからの手紙の受取人
 杉谷義人はひょっとして大江?

第2章 映画化された莫言文学

第1. 紅いコーリャン(紅高粱/Red Sorghum) シネマルーム5(72頁)

1. その世界的評価
 張藝謀1982年北京電影学院卒業、陳凱歌監督の『黄
 色い大地』(84年)で撮影担当、『古井戸』(87年)で
 主演男優、1987年の初監督作品が『紅いコーリャン』
 第38回ベルリン国際映画祭で金熊賞受賞
2. 坂和的注目点
 (1) 時代 日中戦争時の1939年8月9日がメイン。日
 本鬼子の残虐さが1つのテーマだが、それまでの単純
 な反日映画ではない。

- (2) みどころ どこまでも続くコーリャン畑、コーリャン
 酒(小便を混ぜたら絶妙な味と香りに・・・) 色彩
- (3) 主人公 2人の若者、余占鰲(姜文(チアン・ウエン))
 と九兒(鞏俐(コン・リー))。その生命力、躍動感、
 荒々しさ、悪さも平気?(九兒の嫁入り先の夫と父親
 を殺害して酒造店の主人に!)
 ・「わたし」が祖父と祖母の物語を語るというスタイル
- (4) コンリー(中国の山口百恵)のデビュー作(中央戯劇
 学院在学中の大抜擢)

第2. 至福のとき(幸福時光/Happy Times) シネマルーム5(199頁)

1. 日中の評価の違いは
 (1) 日本ではしあわせの3部作の1つとして高評価
 (2) 中国ではイマイチ?
2. 坂和的注目点
 (1) なぜ日本人は張藝謀の「しあわせ3部作」が大好き?
 『あの子を探して』『初恋のきた道』『至福のとき』
 とりわけ張藝謀の『初恋のきた道』と霍建起の『山の郵便
 配達』が大好き。
- (2) 大連というまちに注目!
 ・00年8月はじめての中国旅行で大連に。
 美しいまち、あこがれのまち。
 ・改革開放政策と大連
 ・10年3月の威海旅行で再び大連へ。
- (3) 主人公は悲哀をおびた中年男
 国营企業?民間?
 リストラ 再就職は?
 ラブホテルの経営は可能?
- (4) 張藝謀監督のお好みは、太めの女性?それとも細身の
 女性?
 張藝謀は女優捜しの名人。『紅いコーリャン』、『菊豆』
 で鞏俐(コン・リー)、『初恋のきた道』で章子怡(チ
 ャン・ツイイー)、『至福のとき』で董潔(ドン・ジエ)
 『あの子を探して』で魏敏芝(ウェイ・ミンジ) 20
 11年の『サンザシの樹の下で(山楂樹の戀)』では周
 冬雨(チョウ・ドンユイ)
- (5) あんま室での「至福のとき」は最高!
- (6) 通貨偽造罪と詐欺罪は成立するか?
- (7) 善良な人たちの集まりに感謝!
- (8) 父親からの手紙で思わず涙。
- (9) 思いがけない「事件」と前向きなエンディング!

第3. 故郷の香り(暖)シネマルーム17(264頁)

1. NHKラジオ講座「まいにち中国語」2010年10月
 ~2011年3月で教材に(資料1) — 資料1
2. 坂和的注目点
 (1) タイトルの異同 小説『白い犬とブランコ』
 映画原題『暖』(ヒロインの名前)
 邦題『故郷の香り』
- (2) 暖は黒木瞳似?
- (3) 暖の6歳の娘がなぜ解説?なぜ暖の足は不自由なの?
- (4) 「10年後」の重さとは?
 柴田翔『されどわれらが日々』(1967年)と

の対比

1964年芥川賞

- (5) 大切な小道具 = ブランコ
- (6) 美しい風景 - 中国映画特有 (他にもいろいろ)
- (7) 香川照之のモノ言わぬ熱演!
- (8) 実る初恋があれば (『初恋のきた道』) 実らない初恋も・・・。

第3章 弁護士坂和章平の中国映画への思い

第1. 弁護士坂和章平の経歴と坂和の中国映画への問題意識

北京電影学院講義レジメ「大阪の弁護士坂和章平が語る中国映画あれこれ」(07.10.10)のとおり

資料2

第2. 坂和が鑑賞し評論した中国の映画

- 1. シネマルーム5収録 計66本目次
- 2. シネマルーム17収録 計83本目次

資料3

資料4

第3. シネマルーム18以降に鑑賞し評論した中国映画

計49本 収録一覧表

資料5

第4章 莫言文学についての坂和の問題意識

第1. 農民性、土着性

- 1. 生まれた土地 山東省高密県
- 2. 育った環境 中農
- 3. 時代の流れ
 - 小5の時退学
 - 1966~1977年 文化大革命
 - 1976年 人民解放軍に入隊
 - 1978年 改革解放政策
 - 1978年 北京電影学院再開
 - 1982年 第1期生卒業
 - 1985年 作家デビュー
- 4. いつも動物が! そのウエイトが大きい
- 5. 小説の舞台は? いつも山東省高密県 (= 農村)
 - 主人公は?
 - テーマは?

第2. テーマ、構成、登場人物、言葉づかい、文体など

- 1. 時代背景とテーマ
 - (1) 『赤い高粱』
 - 1939.8.9日中戦争、コーリャン(酒)
 - 色彩、若者の情熱、生命力、荒々しさ
 - (2) 『至福のとき』 リストラ、社会矛盾
 - (3) 『白い犬とブランコ』(『故郷の香り』)
 - (4) 『白檀の刑』 ドイツ人を殺害 処刑の美学
 - (5) 『築路』 無宿人たちの世界、黒犬の存在感
 - (6) 『転生夢現』 ロバ、馬、豚と転生
 - (7) 『四十一炮』 肉小僧のホラ吹き物語
 - (8) 『蛙鳴』 一人っ子政策の問題点に肉迫!
- 2. 言葉づかい、文体など
 - (1) 荒々しい言葉 やたら不適切用語、禁止語が多い
 - (2) リズム感がすごい
 - (3) 誰かの「語り」のスタイルが多い
 - (4) フラッシュバック手法が多い

3. 主人公、登場人物(登場動物?)

- (1) 『赤い高粱』、『至福のとき』、『白い犬とブランコ』(『故郷の香り』)は短編~中編だから、主人公がはっきりしている。登場人物も少ない。
 - 『赤い高粱』は登場人物が3代にわたっているが、主人公はあくまで若き日の祖父と祖母だからわかりやすい。
- (2) 『築路』も同じ
- (3) しかし 『白檀の刑』、『四十一炮』、『転生夢現』、『蛙鳴』になると、登場人物が複雑。2~3世代にまたがるようになる。時代背景の中での人間の生きざまがより複雑で、より大きなテーマになっている。

第5章 莫言との対談、質問事項

第1. 農村での子供時代から人民解放軍に入る(1976年21歳)まで

- 1. 1955年に山東省高密県の中農の家庭に生まれた莫言の生活は? 価値観は? 人生観は?
- v s 戦後の1949年に松山で生まれた坂和の小学、中学、高校時代は?

資料6

- Q1 8人兄弟の末っ子。小5(1965年)のときにどんなことが? 退学
- Q2 66~77年の文化大革命の影響は?(10代)
- Q3 文革中の飢えとは? 孤独とは?
- Q4 読んだ本は?
 - 水滸伝、三国志などごく一部。しかし、祖父の語りによる民話や伝説多数。幽霊や妖怪で頭がいっぱい。その影響は?
- v s 坂和は? 日本、世界文学全集のほとんどすべて
 - 伝記モノ(世界、日本) 冒険モノ(ex 『十五年漂流記』『海底2万マイル』)、宇宙モノ、戦争モノ、名作モノ。中学時代は、吉川英治『宮本武蔵』、『三国志』などの大作を読破!

第2. 人民解放軍での文芸活動(1976年21歳)から作家デビュー(1985年30歳)までに、どんな文学の影響を?

- c f 毛丹青は中国社会科学院時代どんな文学の影響を?
 - なぜ『につぼん虫の眼紀行』が誕生?
- v s 坂和の大学時代(1967~71年。学生運動と司法試験受験) 修習生時代(1972~74年)にどんな文学の影響を?
 - 学生運動の中で必然的にロシア文学(ドストエフスキー、トルストイ)や日本のプロレタリア文学(小林多喜二、徳永直、宮本顕治)など。世界文学では『チボ一家の人々』、バルザック、『赤と黒』など。パール・バック『大地』は小学時代から大好き。さらに当時流行の三島由紀夫や柴田翔など。井上靖『淀どの日記』、『天平の薨』、『敦煌』、『蒼き狼』も大好き。
- Q1 莫言にとっての外国文学の影響とは?
 - e x ガルシア・マルケス『百年の孤独』(85年)、川端康成『雪国』、『伊豆の踊り子』
- Q2 なぜ中国人は川端康成が好き?

第3 莫言にとっての文化大革命(1966~1977年)とは?改革開放政策(1978年~)とは?天安門事件(1989年)とは?

v s 坂和にとっての1960年安保とは?大学紛争とは?1970年安保とは?

公害裁判への没頭(1974年弁護士登録から5年間)

都市問題への関与(1984年~)とは?—

資料7

バブル崩壊(1991年)と「失われた10

年」(1991年~10年間)の中で、弁護士坂和の活動スタンスは?

2001年の小泉改革をどう評価?

2009年8月30日からの民主党政権をどう評価?

この間小説はほとんど読んでいない。情報を得ていただけ。

1985年作家デビュー。坂和は1984年から都市問題に関与。

第4 莫言の作家としての円熟時代(長編小説を次々と執筆)(00~11年)

v s 坂和の弁護士としての円熟時代および中国との接点がスタートしてから10年(00~11年)

Q1 川端康成は短編小説の名手。三島由紀夫も当初はそう。莫言もそうだったが、ある時から(超)長編に!それはなぜ?

Q2 長編には構想力が大切(ex『カラマーゾフの兄弟』『戦争と平和』『大地』(パール・バック)など)。莫言の構想力はどこから生まれるの?

Q3 小説の生命は主人公のキャラクター(exサリンジャー『ライ麦畑でつかまえて』、『罪と罰』のラスコリニコフなど)

『赤い高粱』の余占鰲のキャラの原型は誰?

『築路』の楊六九(隊長代理、墓堀り)、白蕎麦(豆腐売り)、回秀(ニラ売りの少女)、老劉(豚の面を買った男)は?

『白檀の刑』の孫丙、眉娘、小甲、錢丁(県知事)、趙甲(処刑人)は?

『転生夢現』の西門鬧、藍解放、藍臉、西門金竜、西門宝鳳は?

『四十一炮』の羅小通(肉小僧)は?

『蛙鳴』の万足(オタマジャクシ)、万心(伯母、産婦人科)は?

Q4 動物の扱いは?

Q5 音の扱いは?

第5 莫言と映画

v s 坂和は小学校、中学校、高校時代にたくさん観ていた(3本立て55円)。大学時代は日活ロマンポルノ、修習生~弁護士時代はもっぱらビデオ録画で年末年始に。2001年から映画評論スタート。

Q1 戦争中の日本映画は?映画配給の責任者東和商事(川喜多長政)、上海の中華電影(国策会社)

Q2 大量につくられていた反日映画をどう思う?

Q3 80年代の中国映画の高揚をどう理解?

Q4 好きな日本映画は?

Q5 好きな日本の俳優は?去る7月19日に死亡した

原田芳雄を知ってる?過去『竜馬暗殺』などに出演。現在『大鹿村騒動記』が公開中。

第6 中国の現代文学をどう評価?

1. 蘇童は莫言と並ぶ大作家

張藝謀監督の『紅夢』の原作など(シネマ未掲載。後にDVDで観賞)

2. 衛慧(七〇后)『ブッダと結婚』(2005年)『衛慧みたいにクレイジー』(2004年)

坂和は大好き

3. 楊逸『時が参む朝』(2008年)

中国人作家として初めて芥川賞受賞

毛丹青の評価は低い。坂和もあまり好きではない。

4. 虹影『裏切りの夏』

1962年生まれ。天安門事件を体験。92年台湾で出版。本土では発禁。現在ロンドン在住。

日本では安保闘争(60年、70年)に関連する出版が多数あるが、中国では天安門事件に関連する本はすべて発禁!

5. 余華『兄弟 上<文革編>、下<開放経済編>』(08年) 1960年生まれ。『活きる(活着)』の原作

6. 田原(八〇后)『水の彼方』(2009年)

第7 威海プロジェクト(定遠号プロジェクト)の行方は?

1. きっかけ

・2009年12月25日、いきなり毛丹青と薩蘇が坂和を訪問。

福岡太宰府天満宮に定遠館と昭和玉手箱があること、そこに清国軍艦定遠号の廃材(扉、オールなど)があること。

直ちに浦辺登『太宰府天満宮の定遠館』を購入

2. 現地視察

・2010年3月3日、坂和と余静が定遠館を視察

浦辺『太宰府天満宮の定遠館』を読んだということで訪問。資料「とびうめ」「さいふめぐり」をもらった。

3. 威海を公式訪問

・2010年3月15日、坂和、毛丹青、薩蘇、余静が定遠艦景区を視察(事務所だより15号)

・3月16日、清国の指揮所があった劉公島を観光

・3月17日、青島の海軍博物館を見学

4. 弁護士依頼?

・2010年3月28日、定遠号の廃材の買付けについて正式に弁護士として依頼するかどうかを協議

保留のまま

・2010年7月23日、毛丹青、薩蘇、陳悦、姜培旗ら8名が大阪訪問。8名で会食。ちょうど天神祭のとき。写真撮影

5. 以降、薩蘇が引き続き調査継続中

近時『萨书场』(2011年4月)を出版

6. 今後の展開は?

第8 莫言と文学談義

別レジメA

第9 莫言と映画談義

別レジメB

以上